

マメナシ（イヌナシ）（バラ科）
Pyrus calleryana Decne.

三重県：絶滅危惧 IB 類（EN）
旧県：絶滅危惧 IB 類（EN）

環境省：EN

選定理由： 既知の生育地点数は15以下であり，生育地の開発により減少している。

種の概要： 高さ8～10 mの落葉性の小高木。よく分枝する。花期は4月，直径約2.5 cmの白色花。果実はほぼ球形で直径約1 cm，黄褐色で円形の小さい皮目が多数ある。

分布： 国内では本州（三重，岐阜，愛知の各県）。県内では桑名市，いなべ市，東員町，四日市市，鈴鹿市，松阪市，多気町，明和町，玉城町，伊勢市，鳥羽市に分布する。自然分布か植栽なのかやがて困難な状況になる。

現況・減少要因： 里山や溜池周辺などの湧水のある場所に自生。人里に近いために耕地整理や開発により減少している。

保護対策： 生育地の樹木はほとんど国・市・町の天然記念物となっているが，生育地の植生遷移の進行を停止し，幼木の生育を促す下草刈りや共存する木々の伐採が必要である。

特記事項： 四日市市，桑名市の生育地は国指定天然記念物。東員町，松阪市，伊勢市，玉城町ではそれぞれ市町の天然記念物。県指定希少野生動植物種。伊勢地方名をイヌナシという。